

注3

**大学番号：私159**

[平成22年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

**認可**

ヤマザキ学園大学 動物看護学部 動物看護学科

注2

## 【認可】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人ヤマザキ学園  
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課） 理事長室

職名・氏名 シツチョウ スダ エイジ  
室長 須田 栄二

電話番号 042-653-0511

（夜間） 042-653-0511

F A X 042-653-0512

e-mail keieikikaku@yamazaki.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 動物看護学部

＜動物看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 既設大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	3
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	4
別表 専任教員の年齢構成	5

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人ヤマザキ学園

## (2) 大学名

ヤマザキ学園大学

## (3) 大学の位置

〒192-0364 (本部)  
東京都八王子市南大沢4-7-2  
〒150-0046  
東京都渋谷区松濤2-3-10

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 調査対象学部等の名称, 定員等

調査対象学部等の 名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
動物看護学部 動物看護学科 学士(動物看護学)	4 年	180 人	0 年次 人	720 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

## 2 既設大学等の状況

大学の名称	ヤマザキ学園大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
動物看護学部 動物看護学科	年 4	人 180	年次人 0	人 720	学士 (動物看護学)	倍 0.99		平成22年度	東京都八王子市南大沢4-7-2 東京都渋谷区松濤2-3-10	
大学の名称	ヤマザキ動物看護短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
動物看護学科	年 3	人 —	年次人 —	人 —	短期大学士 (動物看護学)	倍 —		平成16年度	東京都八王子市南大沢4-7-2	平成22年より学生募集停止 平成24年10月廃止認可

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

### 3 教員組織の状況

<動物看護学部 動物看護学科>

#### (1) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)
15	5	4	5	29	17	5	6	5	33
(9)	(3)	(3)	(1)	(16)					

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

#### (2) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
65 歳	9 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

#### 4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
<p>動物看護学部動物看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成27年3月には専任教員3人（73歳、71歳、50歳）が退職し、平成27年4月には専任教員3人（65歳、62歳、48歳）を採用した。</p> <p>平成28年3月には、専任教員3人（71歳、71歳、50歳）が退職し、平成28年4月には専任教員4人（65歳、43歳、30歳、30歳）を採用した。</p>	<p>平成29年3月には、専任教員3人（75歳、73歳、69歳）が退職し、平成29年4月には専任教員3人（62歳、60歳、40歳）を採用する予定である。そのことによって、平成29年度は、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数は9人となり、完成年度である平成25年度の14人から5人減じている。</p> <p>平成30年3月には、専任教員（役職者）2人（75歳、73歳）が任期満了につき退職し、平成30年4月には専任教員1人（60歳代、教授）を採用予定である。</p> <p>本学は、動物看護学という特殊な新しい分野の学部であり、獣医学、動物看護学、動物人間関係学を専門分野とする経験豊かな教授を、定年規程に定める退職年齢を超えない範囲で常時確保していくことは難しい状況にあるが、将来計画として、教授については、現在の准教授、講師等の研究業績アップを目指し、教育歴を踏まえ、可能な限り、学内での昇格を図る。完成年度の平成25年度から平成31年度までの専任教員の年齢構成は別表のとおりとなり、66歳を超える教授の人数は14人、9人、8人、7人となる予定である。加えて、平成31年度には70歳以上の教員はゼロとなる。</p> <p>以上のとおり、年齢構成の適正化を段階的に実施していきたい。また、特定分野の少数の例外を除き、70歳以上の雇用は控える方針である。</p> <p>また、現在予定している新規採用に加え、若手教員を採用するため、関係分野の大学に平成28年4月から公募を開始した。</p>

(注) ・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。  
 なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。

専任教員の年齢構成

別表

(定年規程の定める定年年齢：65歳)

	職位	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	定年超過 教員数
平成 25年 4月 (完成)	教授			1	3	5	6	15	14
	准教授		1	1		4		6	
	講師		3	1	1			5	
	助教	2	2	1				5	
	合計	2	6	4	4	9	6	31	
平成 28年 4月	教授			3	2	8	4	17	9
	准教授		4		1			5	
	講師	2	2	2				6	
	助教	3	2					5	
	合計	5	8	5	3	8	4	33	
平成 29年 4月	教授			2	3	7	3	15	9
	准教授		4		2			6	
	講師	1	3	2				6	
	助教	3	2	1				6	
	合計	4	9	5	5	7	3	33	
平成 30年 4月	教授			3	3	7	2	15	8
	准教授		3		2			5	
	講師	1	3	2				6	
	助教	3	2	1				6	
	合計	4	8	6	5	7	2	32	
平成 31年 4月	教授		1	2	4	8		15	7
	准教授		2		1			3	
	講師	1	3	2				6	
	助教	3	2	1				6	
	合計	4	8	5	5	8	0	30	